



どじょう先生の マメ知識



天気予報で聞く言葉の意味をおぼえよう

◆雨の強さと降り方

(平成12年8月作成、平成14年1月一部改正)

| 1時間雨量 (mm) | 人の受ける イメージ | 人への影響 | 災害が発生する状況 |
|---------------|------------------------|------------------|---|
| 10以上～ 20未満 | ザーザーと 降る | 地面からの跳ね返りで足元がぬれる | ●この程度の雨でも長く続く時は注意が必要 |
| 20以上～ 30未満 | どしゃ降り | 傘をさしてもぬれる | ●溝や下水、小さな川があふれ、小さい規模の崖崩れが始まる |
| 30以上～ 50未満 | バケツをひっくり返したように降る | 傘をさしてもぬれる | ●山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 ●都市では下水管から雨水があふれる |
| 50以上～ 80未満 | 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く) | 傘はまったく役に立たなくなる | ●都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある ●マンホールから水がはげしくあふれる ●土石流が起りやすい ●多くの災害が発生する |
| 80以上～ | 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる | 傘はまったく役に立たなくなる | ●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、 厳重な注意が必要 |

◆台風とはこんなもの！

赤道近くの海の上で発生した「熱帯低気圧」が、最大風速(中央付近)17.2メートル以上になると「台風」と呼びます。風の勢力が17.2メートル以下になると「温帯低気圧」と呼ばれるようになります。
※「熱帯低気圧」とは高温の海面から蒸発する水蒸気がエネルギー源になっています。



台風の大きさと強さ(風速15m/s以上の強風域)

※半径500kmの台風って、九州～西日本をすっぽり包むぐらいの大きさがあるんだよ!

| 階級 | 風速15m/s以上の半径 | 階級 | 中心付近の最大風速 |
|-------------|--------------|-------|------------|
| 大型(大きい) | 500～800km未満 | 強い | 33～44m/s未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 | 非常に強い | 44～54m/s未満 |
| | | 猛烈な | 55m/s以上 |

「大型で非常に強い台風が接近しています」ってよく聞くよね。

◆風の強さ

| 平均風速(m/s) | 予報用語 | 状態 |
|-----------|--------|------------------|
| 10～15m未満 | やや強い風 | 歩きにくい、傘がさせない |
| 15～20m未満 | 強い風 | 風に向かって歩くと転倒する |
| 20～25m未満 | 非常に強い風 | 何かにつかまらないと転倒する |
| 25～30m未満 | 非常に強い風 | 立ってられない(屋外行動は危険) |
| 30m以上 | 猛烈な風 | 立ってられない(屋外行動は危険) |

mm: ミリメートル
m: メートル
km: キロメートル
m/s: メートル毎秒
(1秒間の速さ)

防災に
天気予報のチェックは
欠かせません!
ことばの意味を
しっかり頭に入れておこう!

